

- 6. 海洋生物及び生態系を保護するための持続可能な実践的活動の確立
- 7. 違法、無規制、無報告漁業の排除
- 8. 沿岸海洋資源の調査

上記 8 項目の戦略を実行するため、NFMRA では例えばワークショップの活用、資源調査等に用いる多目的船や多目的船引揚げのための車両の管理運営等、幅広い活動を実施している。しかしながら、多目的船や車両は、故障、老朽化等により本来の機能を発揮することが出来ず、戦略の推進に支障をきたしている。

このような状況の中、ナウル政府は、自国の漁業開発を推進するため、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の修理・修復及び技術指導についての要請を行った。

財団は我が国とナウルとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	ナウル漁業海洋資源局（NFMRA）の組織力の強化
プロジェクト目標	関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上
成 果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漁業海洋資源局（NFMRA）所属の多目的船の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。 2. 漁業海洋資源省（NFMRA）ワークショップ及び関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。
活 動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漁業海洋資源局(NFMRA)多目的船の修理・修復及び技術指導 多目的船を修理・修復し、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行う。 2. 漁業海洋資源局(NFMRA)ワークショップ及び関連施設の修理・修復及び技術指導 ワークショップ及び関連施設機材を修理・修復し、カウンターパートに対し修理・修復に係る技術指導を行う。

投 入	<p>財団側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家： [巡回指導] チームリーダー兼冷凍機関、漁船機関 1名 計画：2017年1月下旬～2月中旬（21日） 実績：2017年2月10日～2月24日（14日） 延日数 計画：（21日） 実績：（14日）（計画対比：66%） ・ 主な資機材： ボートトレーラー 1台、発電機運転モニター 1式 等 ・ 事業費： 予算額 13,094千円 実績額 12,574千円（予算対比：96%） <p>相手国側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主なカウンターパート： 海洋資源局(NFMRA)所属 Officer, NFMRA 1名（2017年2月13日～2月23日） ・ プロジェクト関連予算、土地、施設等： ワークショップ、事務室、漁業海洋資源局車両の無償提供
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評 価 事 項

◆ 妥 当 性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、NFMRAが海洋・漁業分野の重要戦略に基づき実施する各種活動の基盤となる多目的船及びワークショップ関連施設の機能を回復することにより、ナウルの海洋資源の持続的 management と適切な漁業活動を推進し同国沿岸漁業の発展に寄与しようとするものであり、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ(対象国、対象地域)との整合性

ナウル政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転を要請されており、事前調査において漁業海洋資源局(NFMRA)多目的船の修理・修復及び技術指導並びに漁業海洋資源局(NFMRA)ワークショップ及び関連施設の修理・修復及び技術指導に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、廃棄部品等の扱いについては、周辺の自然環境や島民の生活環境を汚染しないように常に配慮して作業を行った

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。今回の対象は、多目的船、船外機及びワークショップであり、周辺水域への水産資源に対する負荷を大きくするなどの影響を与えるものではない。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

特になし。

◆ 効率性

1. 事業費及び実施期間

事業費は予算額内に収まり、実施期間も計画内に収まったことから、効率性は高い。

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を發揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内にすべて完了し、期待された機能及び能力を發揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

特になし。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

1) プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標： 関連施設の修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術の向上

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によるカウンターパートの基礎知識及び技術レベルが向上したことから、プロジェクト目標は達成された。

2) その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

(1) 漁業海洋資源局(NFMRA)多目的船の修理修復及び技術指導

多目的船の修理・修復を行い、漁業海洋資源局のカウンターパートに対し修理・修復に関する技術指導を行ったことにより、技術レベルが向上し、多目的船の稼働が円滑になった。

<期待された成果>

漁業海洋資源局(NFMRA)所属の多目的船の修理修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

(2) 漁業海洋資源局(NFMRA)ワークショップ及び関連施設の修理・修復及び技術指導

ワークショップ及び関連施設機材の修理・修復を行い、漁業海洋資源局(NFMRA)ワークショップの担当者に対し修理・修復に関する技術移転を行ったことにより、技術レベルが向上し、施設の維持・管理が円滑になった。

<期待された成果>

漁業海洋資源局(NFMRA)ワークショップ及び関連施設の修理・修復及び当該市悦の維持・管理に係る技術が向上する。

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、多目的船及びワークショップ及び関連施設の修理・修復に関する漁業海洋資源局のカウンターパートの技術が向上するとともに、双方の施設の維持・管理能力が高まったことから、プロジェクト目標は達成された。今後、施設が順調に稼働すれば、上位目標である「ナウル漁業海洋資源局の組織力の強化」の達成に一定の成果を及ぼす。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接

的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、多目的船及びワークショップが稼働し、漁業海洋資源局の実施する各種調査・政策実施のための環境が整った。ナウルの長期戦略では、「海洋資源の持続的管理と適切な漁業活動を推進することにより、安定した経済収益の増加を目指す」ことを目標としており、NFMRA が目的を達成するために行う各種活動を支援していることから、同国の経済発展への間接的な効果が見込まれる。

3. その他(ターゲットグループに対するインパクトやプロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等)

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは漁業海洋資源省の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設を担当する予定である。供与された資機材は、多目的船並びにワークショップの稼働及び運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより施設の機能が回復され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、ナウル政府は当該施設の継続的運営が同国の沿岸漁業振興に不可欠であることを認識しており、本プロジェクト終了後もこの効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他(持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等)

特になし。

以上